



とみおNEWS

つくり富雄県政報告 2008新春号

TOCHIGI PREFECTURAL ADMINISTRATION REPORT OF TOMIO TSUKUI

県議会定例会一般質問

(H19.12.10)



▲県庁舎とともに新しくなった
県議会議事堂の議場は傍聴席
も充実し、多くの人たちが注
視する中での質問だった。



▲つくり富雄の質問に
答える福田富一知事。
質問内容の詳細は、
中面に掲載。

◎高齢化が急速に進む中であります。が健康であれば、歳を取つたことも忘れ楽しみの多い人生を築くことができます。自分の好きな趣味を持ち、終生忘れることなく皆様方の代弁者として、県民の幸せ度向上を目的とし、栃木県の更なる繁栄を実現するために政治活動をしなければ、心を新たにしたところであります。

◎高齢化が急速に進む中であります。が健康であれば、歳を取つたことも忘れ楽しみの多い人生を築くことができます。自分の好きな趣味を持ち、終生忘れることなく皆様方の代弁者として、県民の幸せ度向上を目的とし、栃木県の更なる繁栄を実現するために政治活動をしなければ、心を新たにしたところであります。

◎医療・福祉は人材の育成確保から始まる。本県には自治医大、獨協医大、国際医療福祉大等、医療福祉に関する大学はあるが、地元に定着する医師や看護師が不足をしている。特に産科・小児科医師の確保は優先課題であります。慣例によるとわざず地元優先対策を確立し医療福祉の不安を解消しなければならない。医療福祉は誰もが公平に受けられる制度が必要です。医療・

◎医療・福祉は人材の育成確保から始まる。本県には自治医大、獨協医大、国際医療福祉大等、医療福祉に関する大学はあるが、地元に定着する医師や看護師が不足をしている。特に産科・小児科医師の確保は優先課題であります。慣例によるとわざず地元優先対策を確立し医療福祉の不安を解消しなければならない。医療福祉は誰もが公平に受けられる制度が必要です。医療・

◎少子化対策は、県では栃木未来クラブをはじめました。男女の出会いが安心してできる環境・結婚し子を産み育てる環境・地域に根ざした多様な保育教育体制の整備と充実を進め、少子化に歯止めをかけ、地域に残り将来を支える子供たちを育成し、若者たちが希望を持ち、夢をかなえる事が出来る地域づくりが大切であります。

◎道路整備や産業団地への優良企業の誘致をはじめた。男女の出会いが安心してできる環境・結婚し子を産み育てる環境・地域に根ざした多様な保育教育体制の整備と充実を進め、少子化に歯止めをかけ、地域に残り将来を支える子供たちを育成し、若者たちが希望を持ち、夢をかなえる事が出来る地域づくりが大切であります。

◎安全と安心の社会づくりに大切なのは人の心、道徳・規範意識の欠如の修正が必要です。戦後経済至上主義が今日の繁榮をもたらしたことは大いに誇るべきであるが、弊害として進みすぎた拜金主義が道徳・規範意識を歪め、後退させてしまった。昔に戻れということではなく、命の大切さを大事にする道徳・規範を再生し素晴らしい生き方ができる社会づくりを皆様とともに致します。

国政の衆参選挙現象の緊張が国民生活により向に進むよう県議会議員として覚悟して行動してまいります。今年も同士の皆様には温かいご支援と厳しいご指導を頂きたく、よろしくお

◎少子化対策は、県では栃木未来クラブをはじめました。男女の出会いが安心してできる環境・結婚し子を産み育てる環境・地域に根ざした多様な保育教育体制の整備と充実を進め、少子化に歯止めをかけ、地域に残り将来を支える子供たちを育成し、若者たちが希望を持ち、夢をかなえる事が出来る地域づくりが大切であります。

◎道路整備や産業団地への優良企業の誘致をはじめた。男女の出会いが安心してできる環境・結婚し子を産み育てる環境・地域に根ざした多様な保育教育体制の整備と充実を進め、少子化に歯止めをかけ、地域に残り将来を支える子供たちを育成し、若者たちが希望を持ち、夢をかなえる事が出来る地域づくりが大切であります。

◎安全と安心の社会づくりに大切なのは人の心、道徳・規範意識の欠如の修正が必要です。戦後経済至上主義が今日の繁榮をもたらしたことは大いに誇るべきであるが、弊害として進みすぎた拜金主義が道徳・規範意識を歪め、後退させてしまった。昔に戻れということではなく、命の大切さを大事にする道徳・規範を再生し素晴らしい生き方ができる社会づくりを皆様とともに致します。

国政の衆参選挙現象の緊張が国民生活により向に進むよう県議会議員として覚悟して行動してまいります。今年も同士の皆様には温かいご支援と厳しいご指導を頂きたく、よろしくお

TOMIO 県議一年生のあゆみ

4月 栃木県議会議員選挙当選(14,525票トップ当選)
ご支持・ご支援ありがとうございました。



5月 新人議員研修会
議員全員協議会
臨時議会
常任委員会
特別委員会



6月 定例議会(6/8~6/26)
全国治水栃木大会
県商工会支援県議の会
くろばね紫陽花まつり
つくり富雄励ます会総会
地元道路改修促進同盟現地調査・総会
日本ブルーベリー大会



7月 農林環境委員会現地調査
金田北部柏改良区記念碑除幕式
地元道路改修促進同盟会議
地元道路改修促進同盟現地調査・総会
食と地域振興に関する研究会
地域活性化施設視察
那須地区中学校体育大会
アグリバイオロジー研究会
県内用牛経営者協議会役員会
平和の塔記念祭
金田南コミセン夏まつり
天狗王国夏まつり
議員総会



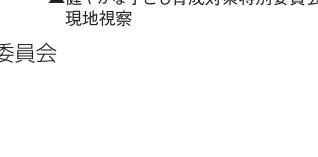
8月 健やかな子ども育成対策特別委員会現地調査(8/1~8/3)
農林環境委員会現地調査(8/8~8/10)
議員総会
与一まつり
栃木県戦没者追悼式
新構想政策研究会
中山間地域議員連会
議会活性化部会
アグリバイオロジー研究会
社会福祉推進議員総会



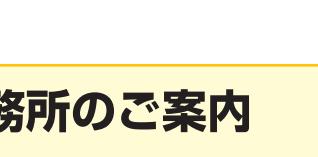
9月 健やかな子ども育成対策特別委員会現地調査
農林環境委員会現地調査
定例議会(9/19~10/5)
中山間地域議員連会
少年の主張那須地区大会



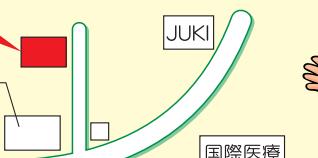
10月 農林環境委員会現地調査
健やかな子ども育成対策特別委員会
与一の里祭り合同サミット
那須地区芸術祭
湯坂川現地視察
金田南地区公民館主催議会棟視察
健やかな子ども育成対策特別委員会視察(10/14~10/16)
決算特別委員会
政策研修会
県立高校再編説明会
那須地区伝令大会
とちぎ食と農ふれあいフェアー
金田地区戦没者慰霊祭
中山間議連鳥獣対策先進地調査
全国農業担い手サミットinとちぎ



11月 農林環境委員会現地調査
健やかな子ども育成対策特別委員会
自治功労者表彰式
とちぎものづくりフェスタ
大田原産業文化祭
金田地区文化祭
黒羽秋祭り
政經懇談会
天狗王国まつり
森林と水こだわり視察
大田原市菊花展表彰式
励ます会ゴルフコンペ
とちぎの和牛を考える会
栃木県認定農業土審査会
アグリバイオロジー研究会



12月 定例議会(12/5~12/20)
津久井富雄県議一般質問
県内用牛経営者協議会
新県庁落成式
新構想政策研究会



ふるさと那須地産地

主催：那須地区農業振興協議会、北部農産直連絡会・



●つくり富雄事務所のご案内

つくり富雄事務所

〒324-0018 大田原市上奥沢594



電話番号が変更になりました。
ご迷惑をおかけいたしますが、
よろしくお願いいたします。



電話番号: 0287(22)5344
Fax番号: 0287(22)5300

※22-5300は電話・Fax兼用からFax専用となり、
電話専用の22-5344を新規に設けました。

※大田原市について、市政・県政について、何でも結構です。お気軽に意見をお寄せ下さい。

●Eメール tomisan@pearl.ocn.ne.jp ●ホームページ <http://e-tsukui.jp>

平成19年12月 栃木県議会定例会質問（一般）

質問1

今年は食に関する多くの問題が発生しました。そこで消費者の食に対する信頼が揺らいでいる現状をどのように受け止め、「とちぎの食の安全・安心」をどのように確保していくのか、伺いたい。

答 昨今の食品表示の偽装など、消費者を欺く事件が頻繁に起こっている事実は、遺憾であり食品の安全・安心を確保していくことは、極めて重要な行政問題であると認識しており、農業者においては農業生産工程管理(GAP)、食品関係事業者においては食品自主衛生管理認証制度とちぎハサップの導入促進を図っております。さらには「とちぎ食の安全・安心・信頼性の確保に関する条例」の主旨に基づき新たな基本計画を策定中であります。



ります。今後県としても、県民・関係機関・団体等が密接な連携を図り、とちぎの農業をどのように育てていくのか、食は命の源であることを原点に考え方を積極的に推進してまいります。

要望 農畜産業は現在、販売価格の下落・生産コストの上昇などにより危機的な状況にある。この現状を踏まえとちぎの農業をどのように育てていくのか、食は命の源であることを原点に考え方をとつていただきたいことを強く要望します。

答 平成20年度の農道緊急整備事業の見通しについて、農水省に対し総務省からの方向性が示されていない状況があり、国の動向を注視してまいります。

質問2 農地・水・環境保全向上対策事業の開について、平成19年度の農振農用地面積に対する取組割合は全国平均に届かない状況であったが、平成20年度においては市町村の要望を踏まえ、県としてどのように進めていくのか、伺いたい。



答 今年度は、要望のあった全地区について採択されました。県・市町村・関係団体を構成員とする県協議会を中心にして、平成20年度も新規地区も含め着実に推進してまいります。

答 積極的に地方の声を強く国政に訴え、なるべく継続ができるよう、尚一層の努力をお願いしたい。また、他の農道整備事業も積極的に取り入れ、農村のインフラ整備を推進していただきたい。

要望 積極的に地方の声を強く国政に訴え、なるべく継続ができるよう、尚一層の努力をお願いしたい。また、他の農道整備事業も積極的に取り入れ、農村のインフラ整備を推進していただきたい。

答 平成20年度の農道緊急整備事業の見通しについて、農水省に対し総務省からの方向性が示されていない状況があり、国の動向を注視してまいります。

質問3 塚原ふるさと農道緊急整備事業について、平成20年度以降の事業の見通しについて、県の考え方を伺いたい。

答 積極的に地方の声を強く国政に訴え、なるべく継続ができるよう、尚一層の努力をお願いしたい。また、他の農道整備事業も積極的に取り組んでいくのが、伺いたい。

質問4 水田を利用した稻発酵飼料いわゆるホールクロップサイリージの生産は、水田の有効利用と畜産経営の安定の両面から極めて有望と考えます。そこで県は今後、水田を活用した飼料作物の生産拡大に、今後どのように取り組んでいくのか、伺いたい。

質問5 県北地域の産業団地は、県央・県南地帯と比較し低い分譲率にとどまっています。企業が立地する場合の優遇策を含め、県北地域への早期企業誘致に向けた積極的な取組を行なうべきと考へるが、県の考え方を伺いたい。

答 県北地域は自然環境に恵まれ、人材や用地を確保しやすい等、企業立地に適応した環境にあり、市町によっては独自の優遇制度を設けており、県としてもそのような優位性をアピールしながら県北地域の産業団地の、早期分譲に向けた積極的な誘致活動を進めています。

質問6 国道461号線のバイパス整備と唐松峠の安全確保について、伺いたい。

に医療福祉産業特区を申請した経緯もあり、市民としては医療と福祉の町として発展していくことを、大きく期待しております。私どもの地域としては、医療関係の優良企業の誘致を深く望むものであり、県として積極的に取り組んでいただこうと強く要望いたします。

質問7 子どもたちをインターネット上の有害な情報から守るために、ネット社会における情報モラルの向上について、どのように指導を行っているのか、その現状と今後の取り組みについて、伺いたい。

中小企業の活性化について、地域資源活用による新商品開発や、オンライン・ブランドの確立など新たな事業展開に対し、積極的な支援策を講じる必要があると考えるが、県の考え方を伺いたい。

答 とちぎ産業創造アラザを核とした支援体制を有効に活用しながら、新たな資源の掘り起こし・事業可能性の調査・地域における活動体制の形成支援など、事業化から販売開拓まで細かな支援を行い、地域資源を活用した中小企業の

新事業が数多く創出されるよう取り組んでまいります。

質問8 放課後子ども教室における文化芸術活動の現状と、今後どのように取り組むのか、県の考え方を伺いたい。

答 放課後子ども教室においては、地域特性を活かした学習や体験交流活動が始まったところですが、今後コーディネーターや指導者の育成研修さらにには教室の充実に取り組んでまいります。

答 放課後子ども教室における運営や事業の推進への支援を行うため、各市町教育委員会と共に放課後子ども教室の充実に取り組んでまいります。

質問9 国道461号線のバイパス整備と唐松峠の安全確保について、伺いたい。

答 国道461号線の南金丸地内から下高橋までの約2kmの区間で、最良のルートを比較検討中でございます。今後早期にルートを確定し、事実調査・現地

測量・道路設計などの作業に着手できるよう努めてまいります。

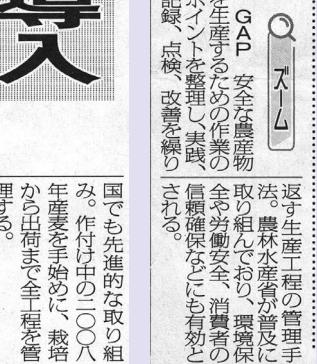
要望 唐松峠の安全確保について、スリップ防止のための鋪装、注意を喚起するための路面表示看板の設置など安全確保に努めてまいります。

要望 国道461号線は地域住民にとって生命線であり、唐松峠の安全確保については、重要な問題であります。トンネル化も含め抜本的な解決策を検討願いたい。

08年度予算案を決定 農林関係2.1%減

麦に生産工程管理導入

安全性と品質向上目指す



政府は24日の臨時閣議で一般会計の総額を83兆613億円とする2008年度の政府予算案を決めた。税収が伸び悩む中で、予算規模の拡大は小幅にとどめ、緊縮路線を行なった。農林水産予算是、07年度当初より2.1%減少した。8年連続で減少しました。

J Aと県

JAと県

府

麦に生産工程管理導入

安全性と品質向上目指す

